

## 広瀬市民センターでシンポジウムを開催しました（2017/03/12）

テーマ：地域連携、歴史資料保存  
場所：広瀬市民センター（宮城県仙台市）

平成 29 年 3 月 12 日（日）に、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 広瀬市民センター（仙台市青葉区）にて、同センター主催 関山街道フォーラム協議会連携事業 関山街道講座『よみがえるふるさとの歴史』シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、東日本大震災以降特に課題として顕在化した、地域の歴史文化の発掘と継承を考え、地域で歴史資料や文化を災害や社会変容から守り伝える試みとして、本研究所の後援事業として企画されたものです。本研究所からは、天野真志助教（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）が 2015 年より広瀬市民センターと連携して地域歴史文化の調査・分析をおこないました。

シンポジウムでは、天野助教がコーディネーターとしてこれまでの活動を振り返るかたちで地元の方々へ地域の歴史文化を紹介しました。当日は 90 名が参加し、広瀬地区が現在に至るまでの経過を知るとともに、今後これらの歴史文化をどのように継承していくべきかを学ぶことになりました。

なお、本企画は次年度以降も継続的に実施し、引き続き広瀬地域の方々へ地域文化継承のあり方を協議していきます。



天野真志助教



シンポジウムの様子



会場の様子